

## NAVI 見どころ紹介 3月

### ●キタコブシ(コブシ)の花芽

耐寒性に長けたコブシの変種で、北海道や東北、北陸などの北国に見られる。葉と花はコブシよりも大きい。花芽を取り出して、1枚1枚めくると・・・(1枚の葉が)/モクレンとの大きな違いは花の付け根に葉ついているのがキタコブシ、ついていないのがモクレン。漢方薬(蓄膿症、頭痛)でもある。

### ●オウレン

オウレン(黄連、学名:Coptis japonica)とはキンポウゲ科オウレン属の多年草の一種。種小名の japonica からわかるように日本固有種。山林に自生する。地中の根茎は黄褐色をしており、「オウレン(黄連)」という生薬である。呉羽丘陵のものは明治期に高浪吉定さんが植栽されたと記録にある。



- ・キクバオウレン
- ・セリバオウレン 本州と四国(呉羽丘陵)
- ・コセリバオウレン 主に太平洋側

### ●オウレンの利用

根茎が薬用され、健胃・整腸・口内炎などの薬になる。薬局や薬店などで根茎(黄連)か、粉末(日本薬局方・黄連末)として販売もされている。根はなかなか伸びず、10年でせいぜい5-6センチメートル。自生種は生育年数が長くなることから、セリバオウレンの栽培品が流通

雪解けすぐに咲く花は・・・・・・・・

●オオイヌノフグリ(大犬の陰囊)3月~5月頃。元々は、西アジア・中近東 原産の帰化植物ですが、今では、日本全国で春を代表する花になっています。



### ●ヒメオドリコソウ(姫躑子草)

ユーロッパ原産の帰化植物です。オオイヌノフグリと、ホトケノザと、このヒメオドリコソウと、よく一緒に咲いています



### ●ヒメリュウキンカ

イギリスやヨーロッパ大陸の山地の湿った草原や湖沼畔に生える、小型のキンポウゲの仲間です。日本全国に散在している帰化植物でもあります。つやつやした花と葉が特徴。

### ●ショウジョウバカマ

日本原産。葉は細長くて光沢があり、根元から放射状に広がります。栄養状態のよい株では、葉の先端から新芽を出します。葉の中心には翌年の新芽があります。

